

# 休学手続きについて

早稲田大学 理工学術院

## 1. 休学

病気その他の理由で引き続き2ヶ月以上授業出席することができない者は、その理由を具し、保証人連署で所属の学部長に願い、その許可を得て休学することができる。（学則第36条）

なお、他大学受験のような復学を前提としない休学は認められません。

## 2. 休学期間・受付

休学は、春学期休学あるいは秋学期休学の2種類とし、当該学期限りとします。ただし、特別の事情がある場合は、引き続き休学が許可される場合がありますので、休学継続を希望する者は、復学手続き時に休学継続を願い出てください。なお、在学中に休学できる期間が通算して学部4年、修士2年（経営デザイン専攻1.5年コースは1.5年）、博士・一貫制博士3年を超えることはできません。

休学種別	休学願の提出期日	休学終了日	復学日	休学年数
春学期	5月末日	9月20日	9月21日	0.5年
秋学期	11月末日	翌年3月31日	翌年4月1日	0.5年

※休学願の提出期日により、学費額が異なりますので、詳細は「7」で確認してください。

## 3. 休学の手続き 【以下の書類提出が必要です。必ず提出前に確認をしてください。】

### □ ①休学願（所定用紙）【全員必須】

休学願に本人、大学登録の保証人それぞれが記入し、別の印を押してください。

大学登録の保証人が不明な場合は、51号館1階理工学統合事務所にお問い合わせください。

### □ ②学籍異動についての報告書（所定用紙）【全員必須】

#### a. クラス担任または指導教員との面接

クラス担任または指導教員と各自で連絡を取り、面談のうえ「学籍異動についての報告書」に面接内容を記載してもらってください。

※休学の理由が怪我・疾病により面接が難しい場合のみ、それを証明する書類を提出することにより、面接が免除されます。

#### b. 学術院長室面接

特別な事情がない限り不要です。必要となる場合は事務所よりお伝えします。

### □ ③休学の理由を証明する書類【該当者のみ】

#### a. 怪我・疾病の場合

診断書：本大学診療所および医療機関の医師が発行したもの

#### b. ワーキングホリデービザ取得による海外渡航や語学留学等の場合

- ・受入国が発給したビザ
- ・学習計画書（A4サイズ、書式自由）
- ・受入先機関が発行した受け入れ許可証または入学許可証

### □ ④海外旅行保険申込書【該当者のみ】

海外渡航に伴う休学の場合は、本学指定海外旅行保険にお申し込みください。申込書は51号館1階理工学統合事務所でお渡ししています。

□ ⑤日本学生支援機構奨学金「異動願（届）」の提出 【該当者のみ】

現在日本学生支援機構奨学金を受給している場合は、「異動願（届）」を提出する必要があります。異動願（届）は 51 号館 1 階理工学統合事務所でお渡ししています。以下奨学課ホームページからダウンロードも可能です。

<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/aid/jasso/procedures/>

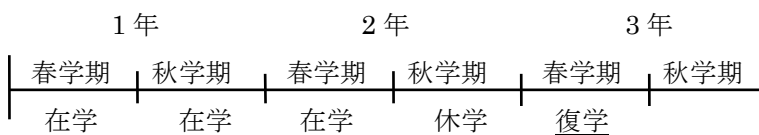
#### 4. 復学

復学は学期の始め（4 月 1 日または 9 月 21 日）でなければ認められません。復学手続きに関する書類は、復学日の 1 ヶ月前に保証人宛に送付します。

#### 5. 復学後の科目履修

(1) 復学時の科目履修上の学年は、実質学年（入学年度より起算した年数から休学年数を差し引いた学年）となります。ただし在学年数に端数が生じる場合は、次の例のように、年度の始めにおいて便宜的に、在学年数の端数を切り上げて上位学年の配当科目を履修できます。

例：2 年生の秋学期に休学した学生が 3 年目の春学期に復学する際は、在学年数 1.5 年、休学年数 0.5 年で実質としては 3 年生ではありませんが、在学年数 1.5 年を切り上げて 2 年とみなし、3 年配当科目の履修を認めます。



(2) 通年科目については、図 a、b の場合、在学 A と在学 B の成績を通算して単位が習得できます。ただし、休学前の 0.5 年（春学期）の履修状況から、担当教員が休学後の 0.5 年（次年度秋学期）の履修で単位習得が困難と判断した場合は、この取り扱いを行いません。

図 a. 秋学期から次年度春学期へ休学継続

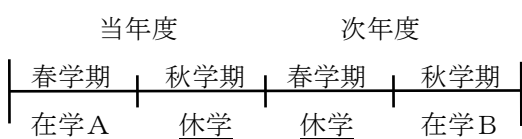
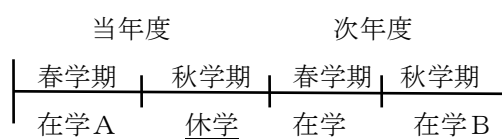
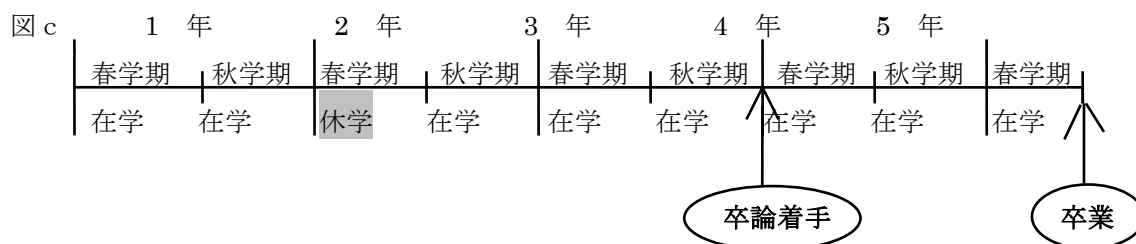


図 b. 秋学期休学の場合



#### 6. 在学年数に端数が生じる場合の卒論着手

例えば図 c のとおり 0.5 年休学した場合、「5」に倣い、条件を満たせば 4 年目の春学期に卒論に着手できます。ただし、卒論に着手できる条件は学科によって異なりますので、詳細については、所属学科に問い合わせてください。また、卒論に関する科目の評価は、修業年数の関係から、修業年数（4 年）を満たした時点で行われます。



## 7. 休学中の学費

休学中といえども、学費は定められた期間内に納入しなければなりません。なお、申請書類提出日により、納入する金額は下表のとおりです。

※入学と同時に最初の学期を休学する場合は、学費の減額はありませぬ。

### 【春学期】

申請日	学費
4月30日まで ※1	休学中在籍料 50,000円
	学生健康互助会費 1,500円
	基礎教育充実費 ※2013年度以前入学者のみ (2年次春学期の休学時のみ) 50,000円
5月1日から 5月31日まで	当該学期の全額

### 【秋学期】

申請日	学費
10月31日まで ※1	休学中在籍料 50,000円
	学生健康互助会費 1,500円
11月1日から 11月30日まで	当該学期の全額

※1 学部・修士所定年限の最終学期休学時のみ、別途校友会費 40,000円が必要となります。

ただし、修士学生の本学学部の正規課程出身者は除きます。

### 【注意】

休学願の提出時期によっては、口座振替処理日程の関係で一時的に所定額(休学が反映されない正規の額)の学費が請求される場合がありますので、予めご承知おきください。会議体にて正式に学籍異動が承認され、徴収すべき額と実際の引き落とし金額に差額が発生した場合には後日返金がなされますが、処理までには通常1ヶ月ほどかかります。

### 在留資格「留学」の留学生へ

在留資格「留学」で本学に在籍している留学生が休学する場合、現在取得している在留資格「留学」は失効します。休学後は、①本国へ帰国 または ②他の在留資格を取得する 必要がありますので、注意してください。休学中の在留資格について不明な点がある場合は、留学センターまでお問い合わせください。

留学センター(早稲田キャンパス 22号館 4階) TEL: 03-3203-9806 E-mail: cie@list.waseda.jp

以上

### 【問い合わせ先】

早稲田大学理工学統合事務所教学支援課 学籍担当  
〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1

(西早稲田キャンパス 51号館 1階)

TEL: 03-5286-3002

E-mail: gakumu@sci.waseda.ac.jp